東京都議会 自由民主党
東京都議会議員 日野市選出

東京都議会報告
No.02

西野 正人（まさ ひと）

— ご意見をお寄せください！ —

令和３年第一回定例会本会議

■ 西野正人日野事務所
〒191-0031 東京都日野市高幡 1-14 大石ビル 301
電話：042-506-9712　FAX：042-506-9713
Mail：nishino@eco.ocn.ne.jp

昭和 35 年日野市生まれ。　日野第四小学校、日野第一中学校、日本大学附属明誠高等学校、明星大学人文学部経済学科卒業。平成 18 年日野市議会初当選、４期連続当選、第 29 代・30 代日野市議会議長。2020 年都議会議員初当選。現在／都議会自民党総務副会長、環境・建設委員会委員。

新型コロナ対策に都は市町村とさらに緊密な連携強化を

一般質問　多摩地域の都保健所と市町村との協力について

新型コロナウイルス感染症の第三波で感染者が急増した年末年始に、南多摩保健所からの打診に応え、日野市は研修派遣として市の保健師４名を派遣しました。保健所の業務の繁多な時に、保健所の職員と市の職員が協力して感染症に対応したことは、双方にとって有意義なことだと思います。一方、市からは「都知事の応援要請があれば、より動きやすかった」という声もありました。また、研修派遣では派遣に係る経費が、派遣元の市町村の負担となります。本来は市町村が応援派遣しやすい実態に即した形で要請すべきと考えますが、都の見解を伺いました。

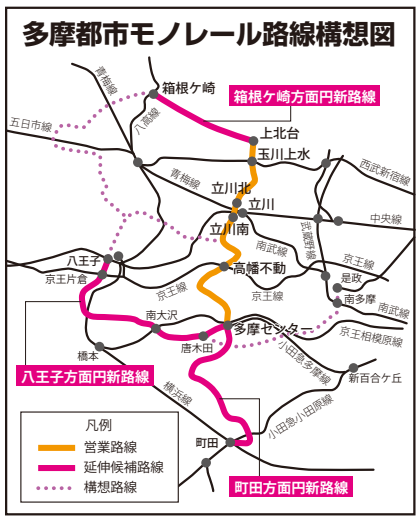
小池知事答弁　日野市から南多摩保健所への保健師の派遣に心から感謝

年末年始の新型コロナ感染者が急増する中、日野市は南多摩保健所からの要請に応え、積極的疫学調査を中心に都保健所の業務支援のため４名の保健師を派遣頂いた。心から感謝申し上げたい。派遣された職員からは「市の今後の感染症対策に生かせる、平時からの地域の取組みの重要性を再認識した」といった声が寄せられている。有事の際に保健所と市町村が迅速に対応するには、平時からの現場に即した協力関係が重要であり、今後とも緊密に意見交換など一層の連携を図る。

「世界で一番の都市東京」の実現には多摩地域の発展が不可欠

一般質問　多摩都市モノレールの箱根ケ崎方面・町田方面への延伸について

東京の発展のためには多摩地域の活性化が重要であると考えています。多摩地域は、圏央道や多摩南北道路の整備により道路交通ネットワークが充実されるとともに、リニア中央新幹線の整備により他の都市圏との交流も期待されます。しかし、多摩地域では南北方向の公共交通は不十分であり、それを補う多摩都市モノレールの箱根ケ崎方面及び町田方面への延伸の重要性は高まっています。沿線地域ではモノレール延伸を見越した街づくりが進められています。延伸にあたっては、沿線市町と都の連携が重要と思いますが、都の見解を伺いました。



東京都答弁　■ 箱根ケ崎・町田方面への延伸で多摩地域の魅力・活力は向上

多摩都市モノレールの箱根ケ崎・町田方面への延伸により南北の拠点が結ばれ、多摩地域の活力や魅力がさらに向上すると考える。事業化に向けては、収支採算性の確保の検討も必要であり、町田方面では導入空間である道路整備も課題だ。箱根ケ崎方面では延伸を見据えた沿線のまちづくり構想に市へ技術的な支援を実施する。

付加価値を高め「稼げる農業」で都市農業の振興を

一般質問　後継者・担い手の減少、農地の減少等の課題に直面する都市農業の振興について

都市農業は担い手、農地の減少等の課題に直面しています。コロナ禍への対策も重要です。日野市では梨・葡萄・ブルーベリーの栽培が盛んで、特にトマトは日野ファースト・トマトとしてブランド化し販売しています。都の支援を受け栽培施設を整備し新規にトマト生産を始めた事例もあります。都市農業は小規模でも収益を上げられる東京型スマート農業を進め、付加価値を高めるための加工開発、販路拡大の支援も重要です。都の所見を伺いました。

東京都答弁　■ 農業者の生産性や販売力を高め、高収益な農業を実現することが重要

これまで都は、パイプハウス等の生産施設や、直売所等の販売施設などの整備へ支援を実施した。来年度は、デジタル技術を活用した生産施設や、加工から流通・販売までの一体的な施設の整備など、更なる経営力の向上に向けた支援を充実していく。また、バイヤーなどの経験を持つ販売開拓ナビゲーターを派遣し、飲食店や百貨店等の新たな販売先とのマッチングをサポートし販路拡大を支援する。

地域コミュニティの中核たる商店街を盛り立てる施策を

一般質問する西野正人議員

一般質問　商店街の活性化について

コロナ禍により都内の商店ではこの一年間、イベントはもちろんセールなどの売り出し事業も中止が相次ぎ苦しい経営が続いています。商店街では安心して買い物ができるよう感染症対策を徹底し懸命な努力を続けるとともに、三密対策を施したイベントやオンラインの併用、また自治体が導入しているキャッシュレス決済でのポイント付与の割合を増やすなど新たな取り組みも出始めています。しかし、収束時期が見通せない中、感染対策の継続的な支援はもとより、コロナ禍でも取り組める商店活動を促し商店街を盛り立てていくべきと考えますが都の所見を伺いました。

東京都答弁　■ 商店街の自主的な取り組みを引き出し活性化につなげる

都では、緊急対策として感染症防止ガイドラインに基づく物品購入や感染症拡大防止の呼び掛けに要する費用を支援し、市町村等と連携して専門家を派遣するなどの支援を実施している。来年度は、商店街が取り組むオンラインの情報発信や、密を分散したイベント手法等を、事例集やセミナーを通じて幅広く周知する。

地域の観光協会の活動へ都の支援の充実を

一般質問　地域の観光振興について

これまで自治体をはじめ観光協会や様々な団体が、力を合わせて地域の特色を活かした祭りや観光イベントに取り組み、成果を上げてきましたが、コロナ禍のもと、こうした行事も延期や中止となっています。日野市では、例年多くの家族連れが訪れる多摩動物公園も今は休園となっており、多摩地域最大規模と言われる高幡不動尊の菊まつりも昨年は中止となりました。観光は地域経済の活性化につながる大切な事業の一つです。コロナ収束後の誘客に向け、地域の観光振興をリードする観光協会へ支援を充実すべきと考えますが都の所見を伺いました。

休園中の多摩動物公園

東京都答弁　■ 新しい日常に対応した観光協会等の取り組みを後押し

都は今年度、観光協会に対し、感染防止マナーを盛り込んだ観光 PR 動画の制作や発信を支援するとともに、収入確保等経営面の課題に対応する専門家を派遣している。また、事前に送られた特産品を楽しみつつ、地元の史跡等を巡るオンラインツアーの実施を支援し、各地の魅力を周知することに努めてきた。今後もオンラインの併用などの新しい日常にも対応した観光協会等の誘客に向けた取り組みを後押しする。

レッドリストを更新し、稀少野生生物の保全を

一般質問　稀少野生生物の保全について

東京は、約 1,400 万の人口を抱える世界有数の大都市でありながら、非常に多様な自然環境を有しています。地元の日野市は自然豊かな街ですが、子供の頃に当たり前のように見かけたアマガエルやカタツムリまたシオカラトンボなどを今は見かけなくなりました。日野市の花「菊」の原型となった「カワラノギク」もかつて多摩川の河川敷で当たり前に見られましたが、現在「絶滅危惧１Ａ類」となっています。稀少野生生物を取巻く環境は、日々変化していることから、早期に最新の生育、生息情報等をレッドリストに反映する取組みを行うべきと考えますが、都の所見を伺いました。

東京都答弁　■ レッドリストは今年度公表に向け見直し作業中

都の保護上重要な野生生物種をリスト化したレッドリストやその解説版であるレッドデータブックは 10 年ごとに見直すこととしており、レッドリストは令和３年度公表に向け見直し作業中であり、平成 25 年度公表のレッドデータブックについても今年度から見直し作業に着手する。こうした取り組みを進め、希少野生生物に関する啓発を行い、生息空間である保全地域の指定、環境アセスメントなどに活用する。

日野市にとって橋梁整備は防災・産業基盤強化に不可欠

一般質問　日野市の橋梁整備について

一昨年の台風被害により日野橋の橋脚部が洗掘され陥没し約７か月間通行止めとなり、改めて橋梁の重要性を認識いたしました。短期間で復旧開通されたことに関係者の皆様に感謝申し上げます。復旧した日野橋は多摩川の水位を常時監視し、基準値を超えた際には通行止めにすると聞いていますので、しっかり管理して頂き安全を確保して頂きたいと思います。また、日野橋の架け替え工事と（仮称）富士見四ツ谷橋の今後の取り組みについて伺いました。

仮橋工事中の日野橋

東京都答弁　■（仮称）富士見四ツ谷橋は道路構造等の検討を重ね関係機関との協議を進める

日野橋は、大正 15 年に架けられ 94 年が経過しており、老朽化が進んでいることから架け替えることとし、仮橋工事は、昨年 11 月から着手し、来年度からは橋桁の架設工事に取り組む。（仮称）富士見四ツ谷橋は、航空測量の成果を基に、引き続き、道路構造等について検討を重ねるとともに、関係機関との協議を進めていく。今後とも、交通の円滑化や防災機能の向上に寄与する橋梁整備を着実に推進する。